

11月 8日(水) 朝礼のお話

「インド」という国

今日は外国のお話、インドという国のことについてお話したいと思います。インドという国の名前は皆さんも知っていますね。南アジアにある世界で7番目に大きな国です。このインドという国は日本と違うところがたくさんあります。今日はそんなお話です。

インドには日本と違う特徴がたくさんあるのですが、まず挙げられるのは人口、人の多さです。国も広いのですが、それ以上に人が多いことが特徴です。現在の人口は14億2000万人ほど、今年中国を抜いて世界で一番多くなりました。日本の10倍以上です。しかもほかの多くの国と違って今もどんどん人口が増えているということですからすごいですね。

そしてもう一つの大きな特徴はたくさんの言葉があることです。日本では基本的にみんな日本語を話しますね。方言といって地方によって多少言葉は違いますが、日本人同士ならば日本語が通じないということはありません。しかし、インドは違います。インドはたくさんの民族が集まってできている国です。言葉も一つではなくものすごくたくさんあるのだそうです。一つの国の中で少なくとも20以上の言葉が公に認められています。一番たくさん使われている言葉はインドという国の正式な言葉であるヒンディー語ですが、この言葉を理解できる人は全体の半分もないそうです。つまり、同じ国の中でもほとんど言葉が通じないという人がたくさんいるということです。これは日本人からするとかなりびっくりすることですね。そんなわけで、インドのお金、お札には日本の「円」に相当するインドのお金の単位である「ルピー」がなんと17種類の言葉で書かれているそうです。また、インドは植民地と言って長くイギリスに支配されていた時代がある関係で英語を話せる人がとても多いのが特徴です。インドの大学では英語で授業が行われるのが普通だそうです。だからインドの人は外国で活躍する人が多いのかもしれないですね。

そしてもうひとつ、日本ととても大きく違うことがあります。それはインドの子どもたちが勉強する算数です。日本の2年生で勉強するかけ算九九、これはその言葉のとおり、 1×1 から 9×9 までの計算を覚えて使うものですね。でも、インドの子どもたちは学校でかけ算の勉強をすると 9×9 までではなくて、 19×19 まで覚えるのが普通だそうです。19の段までのかけ算を覚えるのは大変そうですが、覚えてしまえばこれは便利ですね。

今日はインドのお話をしました。世界には日本と違う国がたくさんありますね。そんな国の人たちと仲良くするためにはまずその国のことを知る、これはとても大切ですね。皆さんも興味をもった国のことを調べてみるとおもしろいですよ。今日のお話に関係あるインドのことを調べられる本を図書室の校長先生おすすめのコーナーに用意してあります。ぜひ読んでみてください。さて、今日も最後まで一生懸命に聴いてくれてありがとう。今日のお話を終わります。